

せら夢公園自然観察園だより

活動報告

■ サギソウ観察会



↑例年より1週間早いペースで開花したサギソウ。

見頃を迎えたサギソウの観察会を8月11日から14日にかけて延べ7回開催し、広島市や福山市など遠方からの参加者を含め約70名の方々に湿原いっばいに咲いたサギソウを楽しんでいただきました。案内役は中島会長と公園スタッフが勤め、サギソウの蜜を味わってもらうなど、観るだけではない一味違うサギソウ観察会になりました。



↑少なくなったとはいえハッチョウトンボもこの時期の見どころとして好評でした。

■ 水辺の植物の専門家・下田さんによる観察会

台風のため延期となっていた里山セミナーを8月12日に開催しました。

この日のテーマは湿地の植物。水生植物の専門家である下田路子さんに講師を務めていただきました。

下田さんは大学やコンサルタント会社で水生植物の調査や湿地の保全活動を通じて、生き物が次々と姿を消していく農村の自然を間近に見つめてこられました。自ら農家のご出身ということもあって、水田をふたたび生物の宝庫に戻すためには、いきいきとした農村を再生する

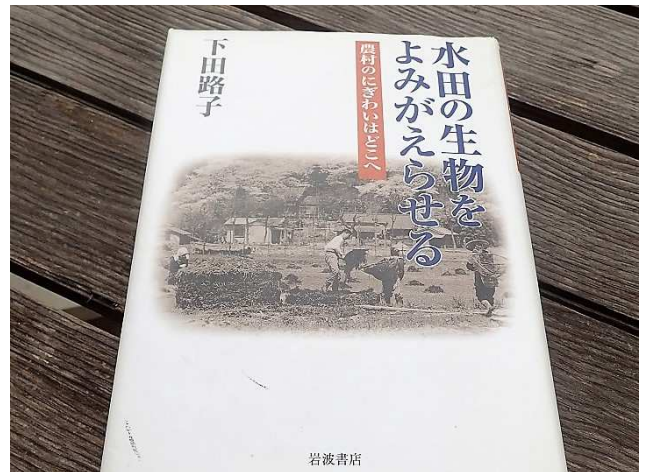
ことが必要だとうたってこられました。



↑メダカ池の植物を解説する下田路子さん（右）

下田さんには今後もいろいろと教えていただく機会を設けたいと考えていますので、今回参欠席された方は次回是非ともご参加ください。

なお、下田さんの著書「水田の生物をよみがえらせる」（岩波書店）を紹介しておきます。



■ 自然写真のコツを学ぶ自然写真講座

8月12日（日）の午後、自然写真講座を開催しました。講師はサポーターズ会長の中島秀也さんです。中島さんは元高校の生物の先生ですが、長年写真部の顧問として高校生たちに写真技術を指導してきました。作品が県代表に選ばれ全国大会にも参加したこともあります。

せら夢公園では昨年からフォトコンテストを開催していることもあり、今回の写真講座を開催する運びとなりました。

受講生は小学生から大人までの8名で、満開を迎えたサギソウやハッチョウトンボを被写体にして楽しく学んでいただきました。



↑自然写真のコツを指導する中島さん（写真中央）

■今年害虫の不当り年？ゆめ農業講座

今年3年目となるゆめ農業講座のテーマは「収量・品質を落とさずに農薬を減らす」です。生き物も育てる米作りに取り組んでいる世羅町の農業法人「農事組合法人さわやか田打」に殺虫剤を使用しない水田を3枚設けて



↑ウンカは稲の株もとに受けたちり取りにウンカをはたき落として調べる。

いただき、これまで5月、6月、7月、8月の計4回、殺虫剤を使用しない水田と使用した水田で害虫や田んぼの生きもの調査を行ってきました。

その結果、田植え直後の害虫であるイネミズゾウムシ、一ヶ月後に注意する必要のあるドロオウムシ（イネクビボソハムシ）、梅雨前線に吹き込むジェット気流に乗って日本へ飛来するセジロウ

ンカとトビイロウンカなどの主要な害虫は、殺虫剤を使

用していない水田でも使用した水田でもほとんどいないという調査結果となりました。

稲の穂が実り始める頃にモミの中身を吸って米粒を変色させるカメムシについては、農薬を散布する基準を超えるか超えないかギリギリの数を確認しました。

カメムシの発生は収量にはほとんど影響せず、被害は米粒の一部が変色し品質を落とすというものです。被害を品質の低下が変色した米粒（着色粒）が1,000粒あたり1粒までが1等米、2粒以上7粒未満で2等米、7粒を超えると3等米となります。

ですが、着色粒は色彩選別機という着色粒を取り除く機械が開発されており、JAや農業法人、大型農家などの多くで既に導入されています。この機械を利用すれば着色粒があっても1等米に上げることができます。

色彩選別機は農事組合法人さわやか田打にも導入されていますので、9月に収穫を迎える殺虫剤を使用していないコシヒカリも、殺虫剤を使用している水田とそん色のない収量と品質が期待できそうです。

最終回は10月20日（土）で、今年の結果のまとめと来年度の取り組みを検討する予定です。



↑調査のまとめは田んぼの近くのあずま屋で行います

8月～10月の行事予定

■ 里山セミナー・総会 8月26日（日）

期日：8月26日（日）9:00～16:30

場所：岡山県自然保護センター

内容：バスで岡山県和気町にある岡山県自然保護センターで視察研修を行います。また、車中で総会を開催します。（詳細は別紙を参照して下さい）

■ 里山セミナー 9月23日（日）

期日：9月23日（日）9:00～12:00

場所：せら夢公園自然観察園

講師：山根浩史さん

内容：「秋のトンボ観察」

■ きのご観察会 10月8日（月）

期日：10月8日（月）9:30～12:00

場所：せら夢公園自然観察園

講師：衛藤慎也さん（きのごアドバイザー）

内容：「秋のきのご観察・採取」

■ ゆめ農業講座 10月20日（土）

期日：10月21日（日）9:00～12:00

場所：世羅町田打 ビオトーチ

講師：日鷹一雅さん、星野滋さん

内容：収量や品質のまとめ

■ 里山セミナー 10月21日（日）

期日：10月21日（日）9:00～12:00

場所：せら夢公園自然観察園

講師：浜田展也さん

内容：「秋の植物の観察」

■ サポーターズクラブの会員募集について

せら夢公園サポーターズクラブでは新規会員を募集しています。会員の方には定期的に自然観察園だよりや観察会の案内等が届きます。年会費は1,000円です。

詳細はせら夢公園自然観察園のホームページをご覧ください。